

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2022-36853
(P2022-36853A)

(43)公開日

令和4年3月8日(2022.3.8)

(51)Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 K 9/50 (2006.01)	A 6 1 K 9/50	4 B 0 3 5
A 6 1 K 8/11 (2006.01)	A 6 1 K 8/11	4 C 0 7 6
A 6 1 K 8/85 (2006.01)	A 6 1 K 8/85	4 C 0 8 3
A 6 1 K 8/73 (2006.01)	A 6 1 K 8/73	4 C 0 8 4
A 6 1 K 8/81 (2006.01)	A 6 1 K 8/81	4 C 0 8 6
審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 13 頁) 最終頁に続く		

(21)出願番号 特願2020-141277(P2020-141277)
(22)出願日 令和2年8月24日(2020.8.24)

(71)出願人 598015084
学校法人福岡大学
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
(71)出願人 000002886
D I C株式会社
東京都板橋区坂下3丁目35番58号
(74)代理人 100182084
弁理士 中道 佳博
(74)代理人 100207136
弁理士 藤原 有希
(72)発明者 三島 健司
福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号
学校法人福岡大学内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 マイクロカプセルの製造方法

(57)【要約】

【課題】 人体に有害な有機溶媒や界面活性剤の使用を必須とすることなく、例えば常温かつ常圧下で簡便に製造することができるマイクロカプセルの製造方法を提供すること。

【解決手段】 本発明のマイクロカプセルの製造方法は、アルコール可溶性高分子およびアルコールを含む第1の流動性混合物と、晶析促進剤およびアルコールを含む第2の流動性混合物とを混合して攪拌する工程を含む。この晶析促進剤は、タンパク質、アミノ酸、およびそれらの類縁体からなる群から選択される少なくとも1種の化合物である。本発明によれば、人体に有害な有機溶媒や界面活性剤を用いることなく、マイクロカプセルを効率的に製造することができる。

【選択図】 図1

